



# はたらくネット

仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労が促進されるように「障害のある方」「企業」「障害のある方の就労支援をしている方」の支援に特に力を入れて、様々な取り組みを行っております。

「障害のある方の就労」に対して、多くの方に興味関心を持っていただき、「障害のある方を受け入れる企業の立場」「障害のある方の支援をする立場」等様々な人たちが「障害のある方の就労」に関することで、社会参加の場が広がっていくことを知っていただく機会を大切にしています。



## あなたにとって「はたらく」とは？

〈働いている障害のある方〉〈障害のある方を雇用している企業の方〉それぞれに「はたらく」

とは何かを聞いてみました。また、今の仕事についてインタビューしました。

〈働いている障害のある方〉



### 《生甲斐》

株式会社万代 仙台南店

- ・人生的に成長 ・給料をもらえる達成感
- ・今までだめだと思っていた自分から抜け出す

○どんな仕事をしていますか？

商品の袋詰めやPOPのラミネート加工、商品のほこりを取り除く作業等を行っています。

指示されたことをメモをとるなど努力もしています。

○働いていて、良かったことは？

自分の知らなかった作品を知ることができることです。

○これからの目標は？

今までより作業効率を上げたり、出来なかったことを出来るようになりたいです。

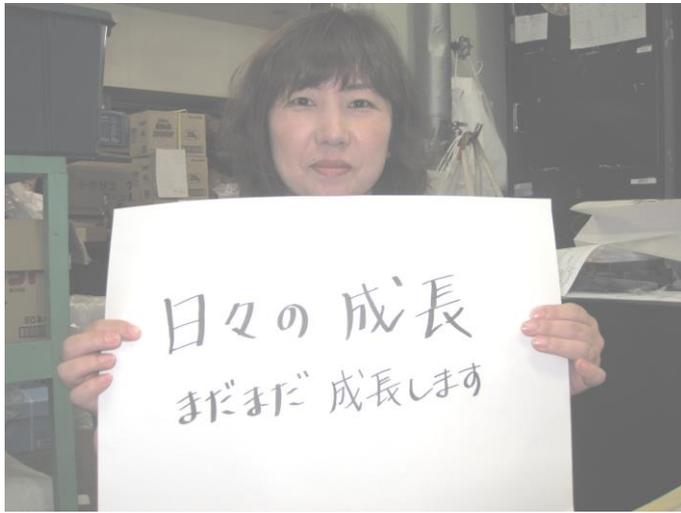
将来は一人ぐらしをしたいです。

これからも、お仕事頑張ってくださいね！！次ページでは、企業の方からお話を伺います。

# 企業に聞きました！

かぶしきがいしゃまんだい  
株式会社万代

株式会社万代様に、障害のある方の雇用についてお話を伺いました。(取材日平成28年7月)



## 《日々の成長》

かぶしきがいしゃまんだい  
株式会社万代

そうむ さとう かおり  
総務 佐藤 香麻里 さん

きのう 昨日できなかった事が今日できるだろう、  
あした 明日はもっとできるだろうという事です。

## 《人生の学び》

かぶしきがいしゃまんだい せんだいみなみてん  
株式会社万代 仙台南店

おくやま ゆみこ  
サービスマネージャー 奥山 由美子 さん

ねんれい せいべつ しゅみ ちが ひとたち いっしょ しごと  
年齢も性別も趣味も違う人達と一緒に仕事をして  
いく中で刺激をもらいながら学ばせてもらっている事  
を日々感じます。



支援学校の実習を経て採用しました。実習前は一緒にうまくやっつけられるだろうかという不安もありましたが、一生懸命働く姿を見て、早い段階で不安は解消されました。雇用するにあたって、仕事をする場所・内容をよく吟味し、一人にならない環境を作る事を入念に検討しました。最初はお母さん世代のスタッフを配置し、本人が相談しやすく安心して働ける環境作りを意識しました。仕事を頼むと「できない」と言わない努力家なので仕事の幅はどんどん広がり、今では大切な戦力となっています。また、業務の切り出しをすることで、他のスタッフの業務負担軽減にもつながりました。

### ■一言メッセージ

#### ～就職を目指す方へ～

プレッシャーや不安要素は沢山あると思いますが、恐れなくて視野を広げてチャレンジして、色々な人と交流してほしいです。

#### ～企業の方へ～

障害のある方を雇用することで得るものも大きいです。雇用してから本人と働きやすい環境を一緒に作っていく事が大事です。

#### ～就労を支援している方へ～

出来る事を増やして本人の可能性を広げることも支援者の仕事であると思っています。

しょくば ようす  
**職場 の 様子**

かぶしきかいしゃまんだい せんだいみなみてん  
**《株式会社万代 仙台南店》**  
 ばしよ せんだいしたいはくくなかだまちすぎ した  
 場所：仙台市太白区中田町杉の下34  
 へいせい ねん がっげんざい  
 (平成28年7月現在)



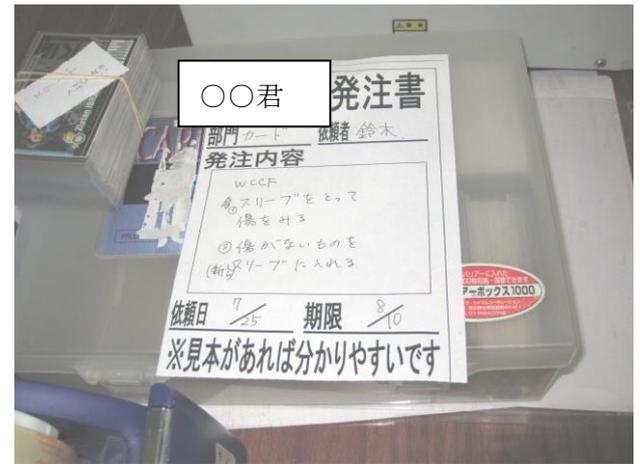
わからない事は奥山さんが相談にのってくださいます。



作業机。きちんと整理整頓されています。



商品に傷がないか一枚ずつ丁寧にチェックし袋詰めします。



業務発注書。指示内容が明記されています。

きぎょう みなさま しょうがいしゃ こようそくしんじぎょう あんない  
**企業の皆様へ（障害者雇用促進事業のご案内）**

「障害のある方にどんな業務をしてもらえば良いかわからない」「求人募集をかけているのに全然応募がない」そんなお悩みはありませんか？

障害者雇用を上手に進めるポイントは、障害特性の理解と業務・環境の調整にあります。障害のある方一人ひとりの強みを活かす業務の選定や環境の調整を行うことで、持てる力を十分に発揮し活躍されている障害のある方もたくさんいらっしゃいます。

当センターでは、そうした個々の強みを活かす業務の選定・環境調整のお手伝いをさせていただきます。まずはお気軽に下記までお問い合わせください。

せんだいししょうがいしゃしゅうろうしえん たんどう さいどう  
 仙台市障害者就労支援センター 担当：齋藤

でんわ 電話：022-772-5517 ファックス：022-772-5519 Eメール：info@sendai-wsc.jp

# 実施報告

## ◆はたらく障害のある方のつどいを開催しました◆



6月4日(土)に、はたらく障害のある方のつどいを開催し12名の参加がありました。質問カードを使った自己紹介と情報交換の後『今年度新たにチャレンジしたいこと』『今年度の仕事の目標』というテーマでフリートークを行い、個々の職場で感じる事を話して、仕事の大変さや大切さを振り返りました。

## ◆就労移行支援事業所等連絡会議を開催しました◆

6月22日(水)に就労移行支援事業所等連絡会議を行い、27事業所の参加がありました。各種制度や活用事例等について、ハローワーク仙台、みやぎしょうがいしゃしょくぎょう宮城障害者職業センター、宮城障害者職業能力開発校よりお話ししました。当センターからは今年度から開始した新たな取組の「ジョブコーチによる障害者雇用促進事業」、平成27年度就労移行支援事業所アンケートの結果について報告を行いました。参加者からは「各制度利用の理解と企業へのアプローチする際の参考になった」などの声が聞かれました。



## ◆全国就業支援ネットワーク第18回定例研究・研修会で発表しました◆

6月27日(月)に全国就業支援ネットワーク第18回定例研究・研修会「働くための福祉(welfare for work)」が開催されました。当センターは「震災からの復興～震災から見えたつながりの強さ」と題し、震災時と震災後において、生活支援機関や企業と連携して職場復帰支援に取り組んだ事例を基に、連携して支援する事の大切さについて発表しました。



## ◆障害者雇用促進セミナーを開催しました◆



7月11日(月)に雇用促進セミナーを開催し、企業や市民、障害のある方他49名の参加がありました。株式会社ビック・ママ様より、雇用の経緯や障害者の方に依頼する仕事を切り出すための工程の分析などお話ししました。参加した企業からは「障害者雇用のヒントがたくさんありました」等の感想がありました。

## ◆特別支援教育コーディネーター養成研修で発表しました◆



7月28日(木)に仙台市内の学校で特別支援教育コーディネーターを目指す先生方を対象に当センターと企業で働く障害のある方が事例発表を行いました。先生方からは積極的に質問があり、障害のある方からは「学校時代、先生に分かって欲しかったこと」「将来の夢」「障害者であっても人間として生まれてきた。人間として生きていきたい」などのメッセージを伝えました。

発行：仙台市障害者就労支援センター  
 (指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)  
 住所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1  
 泉区役所東庁舎5階  
 電話：772-5517・ファックス：772-5519  
 Eメール：info@sendai-wsc.jp  
 ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/